

2017年3月期 決算説明会

ジオマテック株式会社
2016.11

第2四半期業績結果について

業績概要《連結》

単位：百万円

	2016/9						2015/9
	実績	計画	計画比		前年同期比		実績
			増減金額	増減率	増減金額	増減率	
売上高	4,133	4,640	▲507	▲10.9%	▲925	▲18.3%	5,059
営業利益	▲185	0	▲185	—	▲85	—	▲100
営業利益率	▲4.5%	0.0%	—	—	—	—	▲2.0%
経常利益	▲124	20	▲144	—	▲44	—	▲80
親会社株主に帰属 する四半期純利益	▲2,624	530	▲3,154	—	▲2,523	—	▲100
1株あたり 四半期純利益(円)	▲331.76	67.00	▲398.76	—	▲319.06	—	▲12.70
加工高	3,463	3,850	▲387	▲10.1%	▲382	▲9.9%	3,845

加工高とは、売上高から基板材料費と外注加工費を差し引いた、成膜分の売上(付加価値収入)のことです。
尚、加工高は、当社の管理数値として使用しているもので会計数字とは必ずしも一致しません。

第2四半期(累計)業績概要

市場環境

1. スマートフォン、タブレット端末市場は全体として需要が鈍化、
また、一部のスマートフォンメーカーの動向に左右される状況で推移
2. 中小型FPD向けに日本メーカー、韓国メーカー間での競争激化
3. カーナビゲーション用タッチパネルは抵抗膜式から静電容量式へ需要がシフト



2017年3月期の市場環境は厳しい状況で推移



FPD用基板製造設備を中心に減額処理を実施

損益の特殊要因

単位：百万円

土地売却益	東京都品川区（駐車場用地）	538
設備減損	金成工場・赤穂工場（機械装置、建物及び土地等）	3,031
	（内訳）	
	建物及び構築物	(782)
	機械装置及び運搬具	(1,773)
	土地	(466)
	その他	(9)

財務概要

単位：百万円

	2016/9	2016/3	増減
流動資産	22,250	20,428	1,822
現金・預金	8,634	8,688	▲ 53
受取手形・売掛金	10,262	9,335	926
たな卸資産	2,196	1,562	634
その他	1,157	841	315
固定資産	5,850	9,505	▲ 3,656
有形固定資産	3,780	7,508	▲ 3,728
無形固定資産	154	159	▲ 5
投資その他	1,914	1,837	77
合計	28,100	29,934	▲ 1,833

	2016/9	2016/3	増減
負債	12,338	11,056	1,282
支払手形・買掛金	8,980	6,949	2,030
借入金等	2,570	3,105	▲ 535
その他	788	1,002	▲ 213
純資産	15,761	18,878	▲ 3,116
株主資本	15,622	18,365	▲ 2,742
その他の包括利益累計額	139	512	▲ 372
合計	28,100	29,934	▲ 1,833

自己資本比率	56.1%	63.1%	▲ 7.0%
1株あたり純資産 (円)	1,992.57	2,386.49	▲ 393.92

キャッシュフロー概要

単位：百万円

	2016/9	2015/9	増減
営業活動によるキャッシュフロー	546	218	327
税金等調整前四半期純利益	▲ 2,616	▲ 95	▲ 2,521
減価償却費	532	488	44
売上債権の増減額(▲は増加)	▲ 977	1,046	▲ 2,024
仕入債務の増減額(▲は減少)	2,065	▲ 371	2,436
その他	1,542	▲ 850	2,392
投資活動によるキャッシュフロー	549	▲ 681	1,231
固定資産の取得による支出	▲ 355	▲ 652	297
その他	904	▲ 29	933
財務活動によるキャッシュフロー	▲ 648	▲ 648	0
配当金の支払額	▲ 118	▲ 118	0
その他	▲ 530	▲ 530	0
現金等に係る換算差額	▲ 153	17	▲ 170
現金等の増減額(▲は増加)	293	▲ 1,094	1,388
現金等の期末残高	9,634	9,493	140
設備投資額	290	311	▲ 21

第2四半期(累計)製品概要

液晶パネル用基板(帯電防止膜) (前期比 79.8%)

スマートフォン向け 新機種投入遅れと全体的な需要低迷により減少

タブレット端末向け 昨年夏以降から投入された機種は、第1四半期まで継続

タッチパネル用基板(抵抗方式) (前期比 50.8%)

カーナビゲーション向け 需要変化により減少

タッチパネル用基板(静電容量方式) (前期比 99.3%)

スマートフォン向け パネル一体型 安定的に推移

カーナビゲーション向け一体型 安定的に推移

ゲーム機器向け増加、タブレット端末向け減少

その他 (前期比 120.1%)

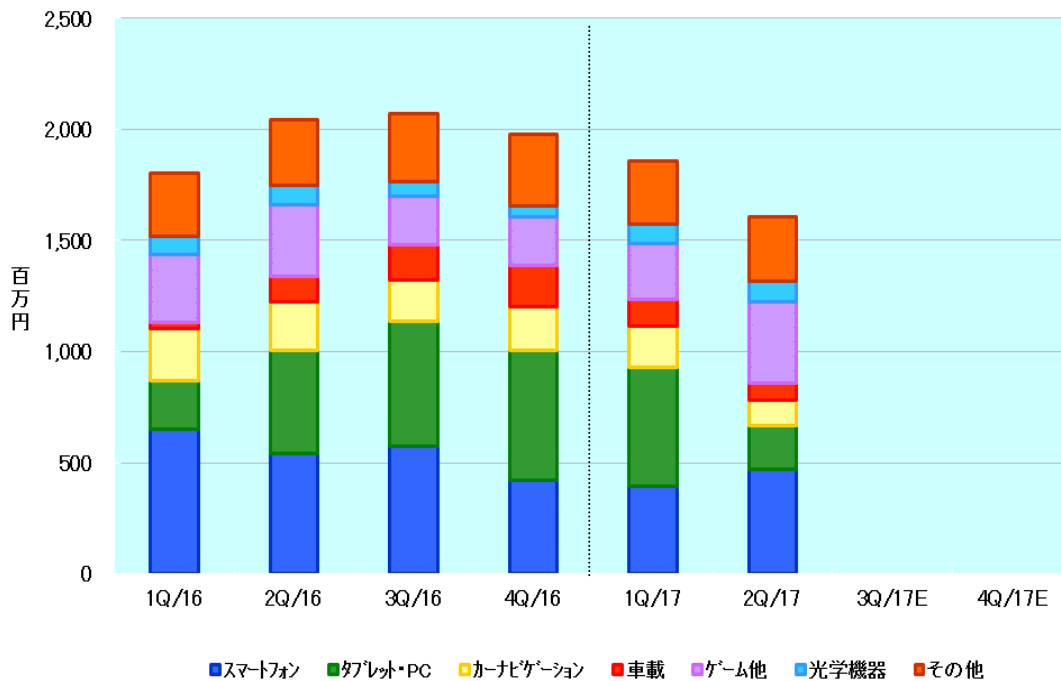
車載向け反射防止膜・防汚膜増加

()内の比率は、加工高の前期比率を表します。

加工高とは売上高から基板材料費と外注加工費を差し引いた成膜分の売上(付加価値収入)のことです。

加工高推移

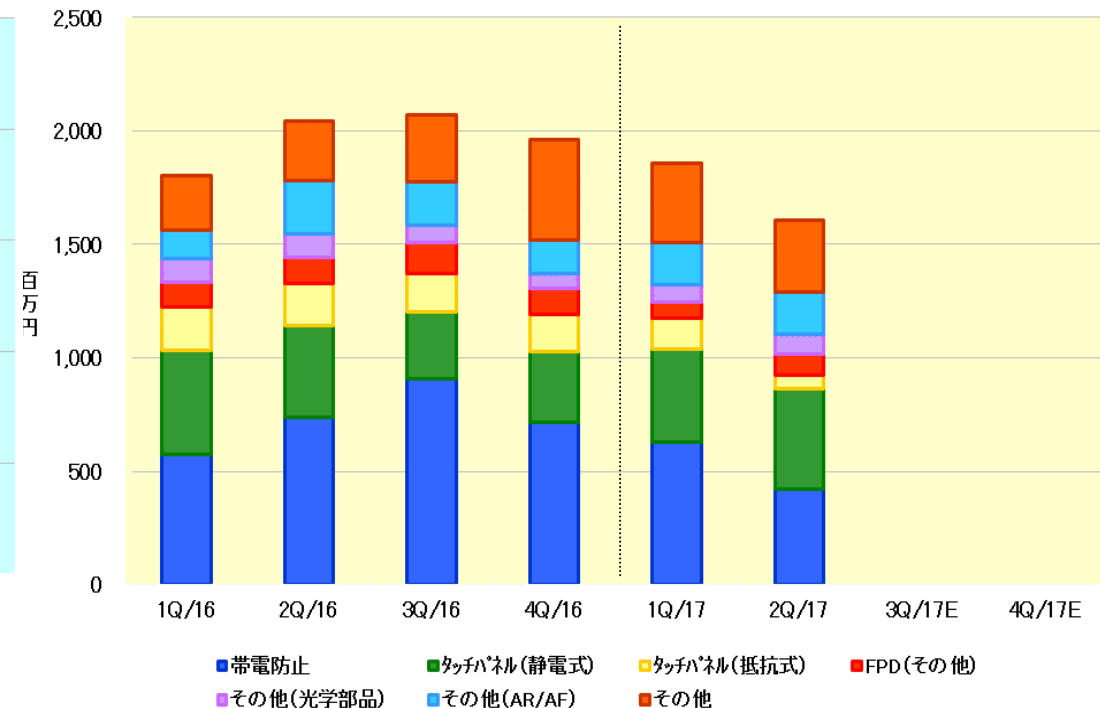
最終製品別加工高推移



← 16.03期実績 →

← 17.03期実績 →

品目別加工高推移



← 16.03期実績 →

← 17.03期実績 →

加工高とは売上高から基板材料費と外注加工費を差し引いた成膜分の売上(付加価値収入)のことです。

2017年3月期業績見通しについて

2017年3月期業績見通し

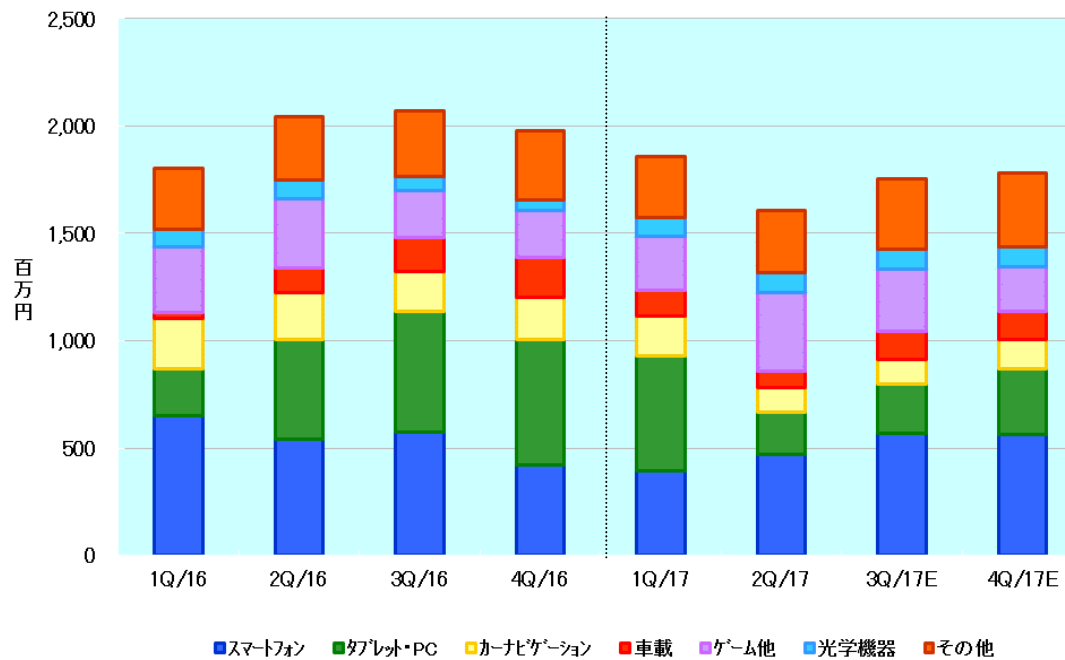
単位:百万円

	2017/3					2016/3
	通期計画	H1実績	H2計画	前年同期比		実績
				増減金額	増減率	
売上高	8,450	4,133	4,317	▲ 1,176	▲ 12.2%	9,626
営業利益	0	▲ 185	185	97	—	▲ 97
営業利益率	0.0%	▲ 4.5%	4.2%	—	—	▲ 1.0%
経常利益	60	▲ 124	184	71	—	▲ 11
親会社株主に帰属 する当期純利益	▲ 2,450	▲ 2,624	174	▲ 2,489	—	39

加工高	7,000	3,463	3,537	▲ 876	▲ 11.1%	7,876
研究開発費	400			▲ 29	▲ 6.7%	429
設備投資額	510			▲ 620	▲ 54.9%	1,131
減価償却費	820	532	288	▲ 232	▲ 22.1%	1,052

加工高見通し

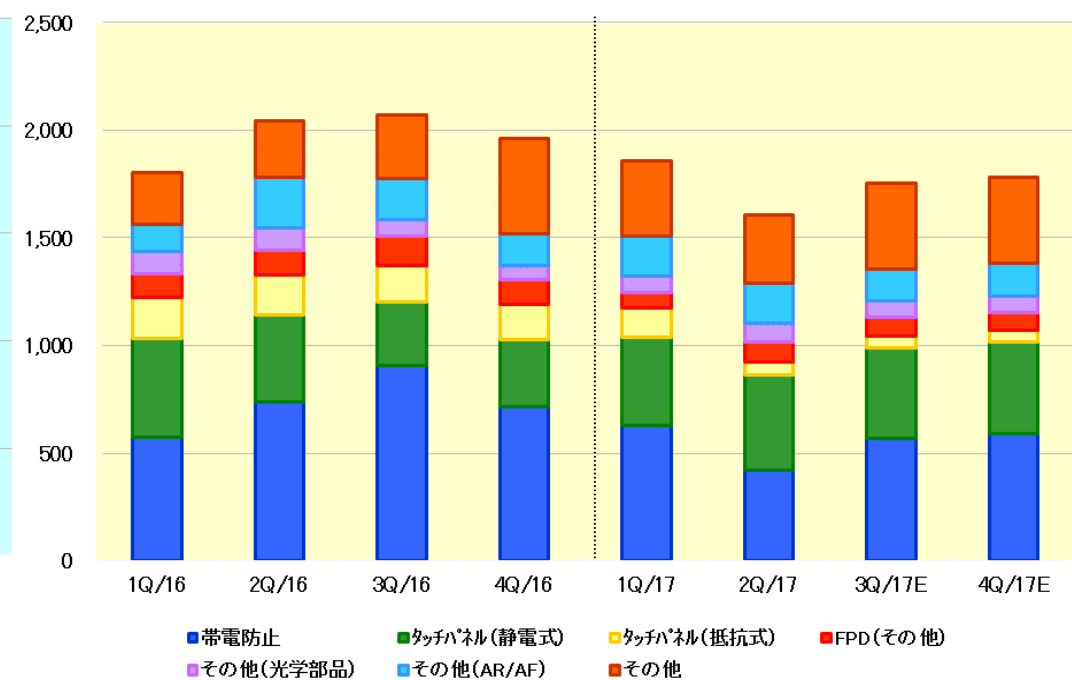
最終製品別加工高推移



← 16.03期 実績 →

← 17.03期 見込み →

品目別加工高推移



← 16.03期 実績 →

← 17.03期 見込み →

加工高とは売上高から基板材料費と外注加工費を差し引いた成膜分の売上(付加価値収入)のことです。

市場環境について

競争環境における脅威

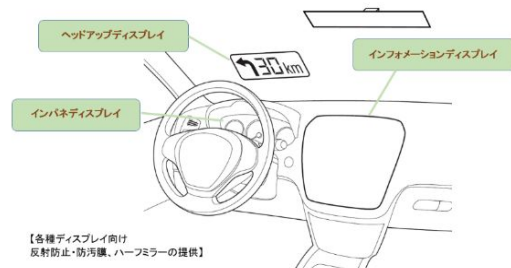
1. スマホ需要の成熟と低価格化
2. 中国メーカーの台頭

競争環境における機会

1. 自動車向けLCDへの薄膜加工案件の増加



方針：自動車向けとFPD以外の製品・分野への技術・製造・販売の構築



今後の取り組み

薄膜技術の応用を液晶産業一極からあらゆるものづくりへ

既存事業へのアプローチ

- ・汎用性の高い(半)自動化による生産性の向上と低コスト化
- ・IT化による情報共有と意思決定の処理のスピード化

新規事業へのアプローチ

- ・薄膜のあらゆる市場への展開による製品ポートフォリオの変革
- ・あらゆるものづくり業界への積極的な販売促進策への投資
- ・薄膜技術と周辺加工技術習得のための人財育成への投資
- ・技術習得と販売促進の実績としての試作加工高の増強

ご清聴いただき、ありがとうございました

注意事項

- ・ 情報提供の目的

当資料の目的は、当社への理解を深めていただくことを目的としており、投資勧誘を目的としたものではありません。なお、掲載されている情報は、細心の注意を払って作成しておりますが、掲載されている情報には不測の誤りがある可能性があります。当資料のご利用により、被害・損害が発生したとしても、当社は一切責任を負うものでないことをあらかじめご了承ください。

- ・ 将来予測に関する考え方

当資料に掲載されている情報には、当社の計画、予測など将来の見通しに関する記述が含まれています。これらは、現時点で入手可能な情報から得られた当社の判断および仮定に基づくものであり、既知または未知のリスク、不確実性及びその他の要因が内在しています。それらの影響により、当社の業績、事業活動、財務状況は、見通しと大きく異なる場合があります。